

平成23年2月

Brian Wasita 学位論文審査要旨

主査 大野 耕 策
副主査 中 島 健 二
同 渡 辺 高 志

主論文

A rat glioblastoma model with diffuse leptomeningeal gliomatosis induced by intracarotid injection of C6 glioma cells

(C6神経膠腫細胞の頸動脈内注入によるびまん性髄膜播腫を伴うラット膠芽腫モデル)

(著者：Brian Wasita、紙谷秀規、木下雄介、Mamun Mahabub Hasan、渡辺高志)

平成21年 Neurological Research 31巻 453頁～462頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、ウイスターラットを用いてC6神経膠腫細胞を経動脈的に注入することにより、新たな膠芽腫髄膜播種モデルを確立させた。このモデルは膠芽腫の組織学的特徴を有しており、免疫組織学的検査において高い浸潤増殖能を有していることが判明した。また以前の脳腫瘍モデルと比べて生存期間が長く、今後の膠芽腫患者に対する臨床前検査に活用することが十分に期待される。本論文の内容は、臨床腫瘍学分野で新たな脳腫瘍動物モデルとして活用できる可能性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。